

令和元年度

あま市自殺対策ネットワーク会議 会議録要旨

日時 令和元年5月20日（月）
午後2時00分～午後3時15分
場所 あま市甚目寺総合福祉会館 3階
つどいの部屋

1 出席者等

出席者等（委員）	12名
（事務局）	7名
（傍聴者）	0名

2 副会長の互選

あま市自殺対策ネットワーク会議要綱第6条第2項に基づき、副会長は委員の互選により井村委員が選出された。

3 報告事項

平成30年度第2回あま市自殺対策ネットワーク会議会議録要旨について

4 議事

- (1) あま市自殺対策計画及び各種取組の進捗状況について
- (2) 今年度の重点施策について
- (3) 自殺関連ケース紹介

(1) あま市自殺対策計画の推進について

(事務局説明要旨)

【計画の背景・市の現状説明】

資料2に基づき、あま市自殺対策計画策定までの背景とその経緯を説明。

- 自殺対策を推進するため、国は平成18年に策定した「自殺対策基本法」を平成28年4月に一部改正し、県及び市町村に自殺対策の計画策定と対策実施を義務付けた。この動きを受け、市は平成30年3月にあま市自殺対策計画を策定した。
- 計画期間は10年間で、自殺者数、自殺死亡率を計画策定時の2割減とすることを目標とした。

【あま市における自殺の現状説明】

資料3に基づき、平成30年の自殺者数及び自殺者数の推移を説明。

- 過去5年の市の平均自殺死亡率は14.6で、これは国よりは低い数字となっている。
- 市の自殺者数は、平成27年から増加の一途であったが、平成30年は減少に転じ、13人となった。(平成29年と比較すると5人減少)
- 平成30年については、60代・70代の自殺死亡者の割合が増加した。

【自殺対策推進体制説明】

資料2に基づき、自殺対策推進体制について説明。

- 自殺対策を総合的かつ効果的に推進するため、行政・関係機関・団体等で構成される「あま市自殺対策ネットワーク会議」、庁内関係部局により構成される「自殺対策推進本部」を設置し、自殺対策のための連携強化及び情報交換等を行った。

(2) 今年度の重点施策について

資料4に基づき、自殺対策の重点施策について説明。

○約140ある取組みの中で、特に目標値を掲げ、重点的に取り組む5つの施策について、平成30年度取組結果及び令和元年度の取組計画について説明。

(主な意見等)

(溝口委員)

①平成30年度の取組結果に対しての課題が見えてこないように思われるが、これは、令和元年度の取組計画の中に反映されているということで良いか。
⇒整理が十分でない部分については、部会の方で検討させていただく。

(覺前委員)

②自殺死亡者数、自殺死亡率について、具体的な数値目標を掲げている。ただ単に数値目標を掲げるだけでなく、分野ごとに「どういったアプローチにより何人自殺者を減らす」というような、個々の取組み内容を根拠を持って話をする方が分かりやすいのではないか。

(富田委員)

③重点的に何かをするなら、年代別に、例えば自殺者の多い再生産年齢に力を入れるというものの1つの方法だと考える。覺前委員の言うような重点的に絞る方法もある。

(事務局)

⇒自殺死亡率の目標値については、「計画策定時から20%減」という形で設定しており、年代別等の設定はしていない。

年代別、再生産年齢に対してのアプローチについては、今日いただいた意見を参考に部会等で検討させていただく。